

試験を活用した研修修了評価システム (WEB版)のご案内



一般社団法人 日本介護支援専門員協会



案内メール



【2022年度 介護支援専門員専門研修課程I】試験前日のご案内

介護支援専門員登録番号:000000

氏名: ○○○○ 様

明日の試験は以下となります。試験は必ず試験期間中に行ってください。

■■ 試験実施概要 ■■

【1】試験種類 :【介護支援専門員専門研修課程I】

【2】試験開催期間:【2022年6月15日(水)～6月30日(木)】

02-1 ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定(問1～8) 試験日(2022年6月15日)

02-2 介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状(問9～16) 試験日(2022年6月15日)

02-3 対人個別援助技術及び地域援助技術(問17～24) 試験日(2022年6月15日)

02-4 ケアマネジメントの実践における倫理(問25～32) 試験日(2022年6月15日)

02-5 ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実践(問33～40) 試験日(2022年6月15日)

02-6-1 リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例(問41～48) 試験日(2022年6月15日)

02-6-2 看取り等における看護サービスの活用に関する事例(問49～56) 試験日(2022年6月15日)

02-6-3 認知症に関する事例(問57～64) 試験日(2022年6月15日)

■■ 試験問題へのアクセス ■■

上記、試験開催期間中に必ずアクセスしてください。

インターネットに接続できるいずれかの機器(PC／タブレット／スマートフォン)を立ち上げて
以下のURLにアクセスして、お待ちください。

<https://www.jcma.or.jp/exam/logind.php?uid=2309ba3c51e622e74f1140058c4e58f0f6be8b036ea78037>

試験前に配信されるメールに記載されているURLから
試験一覧のページにアクセスしてください。



試験一覧



試験を活用した研修修了評価システム (WEB版)

試験 太郎 さん

ログアウト

2022年07月07日(木)

登録番号	[Redacted]
氏名	試験 太郎

2022年度 介護支援専門員専門研修課程 I

クリックして試験を開始

- 02-1 ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定（問1～8）【済】
- 02-2 介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状（問1～8）【済】
- 02-6-4 入退院時等における医療との連携に関する事例（問1～8）
- 02-6-6 社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例（問1～8）

※試験開始時刻になるとボタンが押せるようになります。
※試験時間は10分です。開始後に中断はできませんのでご注意ください。
※終了時刻になると自動的に試験終了となります。

Copyright © 2022 JCMA Japan Care Manager Association All Rights Reserved.

日本介護支援専門員協会へ

受験することが可能な科目を選択してください。
動画視聴がある場合は視聴完了後に受験可能になります。
※試験時間は各10分です。開始したら中止できませんのでご注意ください。



試験画面





試験を活用した研修修了評価システム (WEB版)

試験 太郎 さん ログアウト

2022年度 介護支援専門員専門研修課程 I

入退院時等における医療との連携に関する事例（問1～8）

問1 高血圧症及び脳血管疾患の特徴について、正しいものを2つ選べ。

1. 高血圧症の原因として、塩分の過剰摂取やストレスがあげられる。

2. 高血圧症と運動不足との関係性はない。

3. 高血圧症は頭痛などの症状が出ることが多い。

4. 脳卒中とは出血性疾患と虚血性疾患の総称である。

5. 脳血管が破れたことで起きるのは虚血性脳血管障害（脳梗塞）である。

クリックして確認画面へ

解答内容を確認する

※【解答内容を確認する】ボタンで確認へ進んでください。

● 残り時間
9分10秒

Copyright © 2022 JCMA Japan Care Manager Association All Rights Reserved.

日本介護支援専門員協会へ

※制限時間内に試験を提出してください。



試験画面の操作について



問1 高血圧症及び脳血管疾患の特徴について、正しいものを2つ選べ。

1. 高血圧症の原因として、塩分の過剰摂取やストレスがあげられる。

2. 高血圧症と運動不足との関係性はない。

3. 高血圧症は頭痛などの症状が出ることが多い。

4. 脳卒中とは出血性疾患と虚血性疾患の総称である。

5. 脳血管が破れたことで起きるのは虚血性脳血管障害（脳梗塞）である。

クリックして選択を解除

2つ以上は選択できませんので、
2つ選択するとロックされたようになりますが、
一度選択した解答を再度クリックすると
選択が解除されます。

問1 高血圧症及び脳血管疾患の特徴について、正しいものを2つ選べ。

1. 高血圧症の原因として、塩分の過剰摂取やストレスがあげられる。

2. 高血圧症と運動不足との関係性はない。

3. 高血圧症は頭痛などの症状が出ることが多い。

4. 脳卒中とは出血性疾患と虚血性疾患の総称である。

5. 脳血管が破れたことで起きるのは虚血性脳血管障害（脳梗塞）である。

問1 高血圧症及び脳血管疾患の特徴について、正しいものを2つ選べ。

1. 高血圧症の原因として、塩分の過剰摂取やストレスがあげられる。

2. 高血圧症と運動不足との関係性はない。

3. 高血圧症は頭痛などの症状が出ることが多い。

4. 脳卒中とは出血性疾患と虚血性疾患の総称である。

5. 脳血管が破れたことで起きるのは虚血性脳血管障害（脳梗塞）である。

選択が解除されると別の解答が選択できます。



確認画面



試験を活用した研修修了評価システム (WEB版)

2022年度 介護支援専門員専門研修課程 I

問題を解いてください。変更は [訂正] ボタンを押して変更してください。

問1 高血圧症及び脳血管疾患の特徴について、正しいものを2つ選べ。

- 1. 高血圧症の原因として、腎臓の過剰摂取やストレスが挙げられる。
- 2. 高血圧症は運動不足と関係性はない。
- 3. 高血圧症は頭痛などの症状が出ることが多い。
- 4. 脳卒中とは出血性疾患と虚血性疾患の総称である。
- 5. 脳血管が破裂したことによる脳梗塞の原因である。

問2 脳卒中の原因としての脳梗塞の特徴について、正しいものを2つ選べ。

- 1. 入院中の心因性認知症の人には脳梗塞が多い。
- 2. 脳梗塞は突然の意識障害やめまいなどない。
- 3. 進行性歩行困難は、歩行困難を呈する。
- 4. 入院中の心因性認知症の人には脳梗塞が多い。
- 5. 入院中の心因性認知症の人には脳梗塞が多い。

問3 脳梗塞の原因としての脳梗塞の特徴について、正しいものを2つ選べ。

- 1. 運動不足による脳梗塞の原因として、脳梗塞が多い。
- 2. 運動不足による脳梗塞の原因として、脳梗塞が多い。
- 3. 運動不足による脳梗塞の原因として、脳梗塞が多い。
- 4. 運動不足による脳梗塞の原因として、脳梗塞が多い。
- 5. 運動不足による脳梗塞の原因として、脳梗塞が多い。

問4 入院中の心因性認知症の人における脳梗塞の特徴と脳梗塞について、正しいものを2つ選べ。

- 1. 運動不足による脳梗塞の原因として、脳梗塞が多い。
- 2. 運動不足による脳梗塞の原因として、脳梗塞が多い。
- 3. 運動不足による脳梗塞の原因として、脳梗塞が多い。
- 4. 運動不足による脳梗塞の原因として、脳梗塞が多い。
- 5. 運動不足による脳梗塞の原因として、脳梗塞が多い。

問5 高血圧症の原因としての脳梗塞の特徴について、正しいものを2つ選べ。

- 1. 運動不足による脳梗塞の原因として、脳梗塞が多い。
- 2. 運動不足による脳梗塞の原因として、脳梗塞が多い。
- 3. 運動不足による脳梗塞の原因として、脳梗塞が多い。
- 4. 運動不足による脳梗塞の原因として、脳梗塞が多い。
- 5. 運動不足による脳梗塞の原因として、脳梗塞が多い。

問6 入院中の心因性認知症の人における脳梗塞の特徴と脳梗塞について、正しいものを2つ選べ。

- 1. 運動不足による脳梗塞の原因として、脳梗塞が多い。
- 2. 運動不足による脳梗塞の原因として、脳梗塞が多い。
- 3. 運動不足による脳梗塞の原因として、脳梗塞が多い。
- 4. 運動不足による脳梗塞の原因として、脳梗塞が多い。
- 5. 運動不足による脳梗塞の原因として、脳梗塞が多い。

問7 高血圧症の原因としての脳梗塞の特徴について、正しいものを2つ選べ。

- 1. 運動不足による脳梗塞の原因として、脳梗塞が多い。
- 2. 運動不足による脳梗塞の原因として、脳梗塞が多い。
- 3. 運動不足による脳梗塞の原因として、脳梗塞が多い。
- 4. 運動不足による脳梗塞の原因として、脳梗塞が多い。
- 5. 運動不足による脳梗塞の原因として、脳梗塞が多い。

問8 高血圧症の原因としての脳梗塞の特徴について、正しいものを2つ選べ。

- 1. 運動不足による脳梗塞の原因として、脳梗塞が多い。
- 2. 運動不足による脳梗塞の原因として、脳梗塞が多い。
- 3. 運動不足による脳梗塞の原因として、脳梗塞が多い。
- 4. 運動不足による脳梗塞の原因として、脳梗塞が多い。
- 5. 運動不足による脳梗塞の原因として、脳梗塞が多い。

確認を提出する

4分50秒

確認画面で最終確認を行ってください。

試験 太郎さん

ログアウト

2022年度 介護支援専門員専門研修課程 I

クリックして修正画面へ

訂正

2022年度 介護支援専門員専門研修課程 I

クリックして修正画面へ

解答内容を確認してください。変更は【訂正】ボタンを押して変更してください。

問1 高血圧症及び脳血管疾患の特徴について、正しいものを2つ選べ。

- 1. 高血圧症の原因として、塩分の過剰摂取やストレスがあげられる。
- 2. 高血圧症と運動不足との関係性はない。
- 3. 高血圧症は頭痛などの症状が出ることが多い。
- 4. 脳卒中とは出血性疾患と虚血性疾患の総称である。
- 5. 脳血管が破裂したことで起きるのは虚血性脳血管障害（脳梗塞）である。

クリックして提出画面へ

解答を提出する

● 残り時間
4分50秒

時間は提出までカウントダウンしますのでご注意ください。

日本介護支援専門員協会へ

Copyright © 2022 JCMA Japan Care Manager Association All Rights Reserved.



試験提出



試験を活用した研修修了評価システム (WEB版)

試験 太郎 さん

[ログアウト](#)

2022年度 介護支援専門員専門研修課程 I

2022年07月07日(木)

[登録番号 1234] 試験 太郎 さんの解答を提出しました。

[クリックして採点結果へ](#)

試験を終了します。お疲れさまでした。

[採点結果を見る](#)



試験結果



検査結果と診療録登録システム (WEB版) HOW TO オンライン

2022年度 介護支援専門員専門研修課程 I

[登録番号 1234] 試験 太郎さんの採点結果

1点 / 8問中

□ 02-4 入退院時における医師との連携に関する事項

問題	解説	正解
■ 01 ■ 通常医師と連絡を取る際の特徴について、正しいものを2つ選べ。	解説 正解	
1. 高齢者では、医師が頻繁に会うことで、毎日の連絡が少なくて済む。	○ ○	
2. 通常医師と連絡不足では、医師の連絡手段がストレートが良い。	○	
3. 通常医師と連絡不足では医師の回診が多いため。	○	
4. 診察料などは医師と連絡不足では医師の回診料である。	○	
5. 医師が連絡することで受け取るのは自分の責任である。	○	
■ 02 ■ 入退院時に医師との連携と連絡の特徴について、正しいものを2つ選べ。	解説 正解	
1. 入院中に内臓疾患で入院した本人に相談する事はない。	○	
2. 入院中の内臓疾患で入院した本人に相談する事はない。	○	
3. 球嚢型腫瘍や使用目的の時は、人間に行はず、連絡に行く。	○	
4. 入院中に内臓疾患で入院した本人に相談する事はない。	○ ○	
5. 入院中に内臓疾患で入院した本人に相談する事はない。	○	
■ 03 ■ 退院時に医師との連携と連絡の特徴について、正しいものを2つ選べ。	解説 正解	
1. 既往歴は個人情報であり、医師に相談する事はない。	○	
2. 透析患者は、水・食分制限がある。	○	
3. 退院がひとつの原因でない場合は医師と連絡が必要である。	○ ○	
4. 退院後も医師による連絡が要である。	○	
5. 退院後は、社会生活に正常な生活を送らせる。	○	
■ 04 ■ 入退院時に医師との連携と連絡の特徴について、正しいものを2つ選べ。	解説 正解	
1. 退院前には退院に向けての再アセスメントが必要である。	○ ○	
2. 外出・外泊の必要性は検討する必要はない。	○	
3. 入院中に、自宅での日常生活動作の確認などをすることはできない。	○	
4. 退院調整聞き取りシート等は作成しない。	○	
■ 05 ■ 入退院時に医師との連携と連絡の特徴について、正しいものを2つ選べ。	解説 正解	
1. 退院時のカウンターストロークは、主に医師が行なう。	○	
2. 入院時医師が担当する連絡は、担当する看護師が担当する。	○ ○	
3. 退院医師が担当する連絡はカウンターストロークの連絡が必ずある。	○	
4. がん末期では内臓疾患は、退院医師が担当する。	○	
5. 退院時にカウンターストロークの連絡をする場合は、サービス業者を用意してもらう。	○	
■ 06 ■ 入退院時に医師との連携と連絡の特徴について、正しいものを2つ選べ。	解説 正解	
1. 退院時のカウンターストロークは、主に医師が行なう。	○	
2. 入院時医師が担当する連絡は、担当する看護師が担当する。	○ ○	
3. 退院医師が担当する連絡はカウンターストロークの連絡が必ずある。	○	
4. がん末期では内臓疾患は、退院医師が担当する。	○	
5. 退院時にカウンターストロークの連絡をする場合は、サービス業者を用意してもらう。	○	
■ 07 ■ 退院時の特徴について、正しいものを2つ選べ。	解説 正解	
1. 二重会計として内臓疾患、透析、腎機能不全等を記載する。	○ ○	
2. 退院医師（イニシアーチャー）が連絡する。	○	
3. 入院中に、自己責任で行動の範囲を広げることをすること不可以。	○	
4. 連絡調整書き込みシートを作成しない。	○	
5. 可能なる限り退院時にアドバイスを受ける。	○	
■ 08 ■ 退院時の特徴について、正しいものを2つ選べ。	解説 正解	
1. 二重会計として内臓疾患、透析、腎機能不全等を記載する。	○ ○	
2. 退院医師（イニシアーチャー）が連絡する。	○	
3. 入院中に、自己責任で行動の範囲を広げることをすること不可以。	○	
4. 連絡調整書き込みシートを作成しない。	○	
5. 可能なる限り退院時にアドバイスを受ける。	○	
■ 09 ■ 退院時の特徴について、正しいものを2つ選べ。	解説 正解	
1. 二重会計として内臓疾患、透析、腎機能不全等を記載する。	○ ○	
2. 退院医師（イニシアーチャー）が連絡する。	○	
3. 入院中に、自己責任で行動の範囲を広げることをすること不可以。	○	
4. 連絡調整書き込みシートを作成しない。	○	
5. 可能なる限り退院時にアドバイスを受ける。	○	
■ 10 ■ 退院時の特徴について、正しいものを2つ選べ。	解説 正解	
1. 二重会計として内臓疾患、透析、腎機能不全等を記載する。	○ ○	
2. 退院医師（イニシアーチャー）が連絡する。	○	
3. 入院中に、自己責任で行動の範囲を広げることをすること不可以。	○	
4. 連絡調整書き込みシートを作成しない。	○	
5. 可能なる限り退院時にアドバイスを受ける。	○	

自分の解答と正解が比較して確認できます。

PDFで保存も可能

採点結果をPDFで保存する

一覧に戻る

ログアウト